

施策番号	2002		
施策名	歩く魅力を最大限に味わえるような歩行者優先のまちづくり		
概要	歩行者と公共交通を最優先とする快適な道路空間を構築するとともに、通過交通の抑制、物流対策、駐車場施策、パークアンドライドなどの適切な自動車利用の抑制策を推進する。		
担当局・部室	都市計画局・歩くまち京都推進室	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関係する 主な分野別計画等	「歩くまち・京都」総合交通戦略		

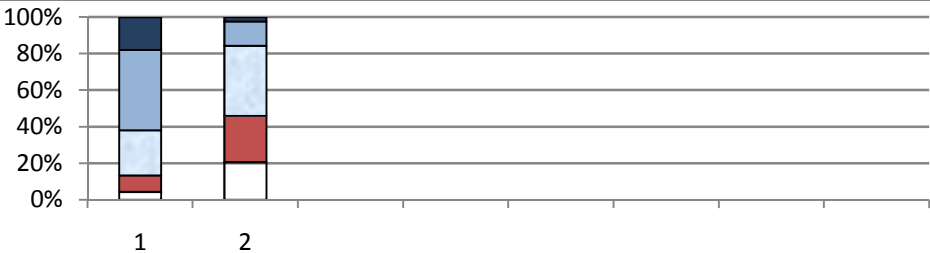
### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名		年度	年度	23年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	パークアンドライドの利用者満足度(%)	-	-	97.5	86.6	97.6	88.7%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
				客観指標総合評価				a	

#### 2 市民生活実感評価 \*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		23年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている。	95	234	131	48	23	531	b
		17.9%	44.1%	24.7%	9.0%	4.3%		
2	まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている。	13	75	216	143	116	563	d
		2.3%	13.3%	38.4%	25.4%	20.6%		
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

### 3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c	
(重み付けの理由) 市民の生活実感に施策の効果がすぐ反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。						年度 -
(原因分析) ・総合評価は、B評価となった。 ・「パークアンドライドの利用者満足度」は、80%を超える方が「とても良かった」「まあまあ良かった」とされたことにより、客観指標評価はa評価となった。 ・市民生活実感評価は、歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっているという設問に対してはb, まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っているという設問に対してはd評価であり、総合評価はc評価であった。						年度 -

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	華やぎ支援事業	122,366	627,419	かなり良い	行財政局
2	駐車場条例改正に向けた原単位検討調査	12,922	—	—	都市計画局
3	京阪神都市圏総合交通体系調査	44,507	22,399	—	都市計画局
4	「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進	506,929	351,795	—	都市計画局
5	全国道路交通情勢調査(道路交通センサス)	56,631	4,899	—	都市計画局
6	駐車場事業特別会計繰出金	1,503,297	1,483,199	—	建設局
7	放置自動車対策	93,858	96,889	かなり良い	建設局
8	看板等路上物件適正化事業	58,820	62,847	普通	建設局
9	京都市山科駅前駐車場(ラクト駐車場)	83,009	136,786	かなり良い	建設局
10	市営駐車場	203,296	206,930	普通	建設局
11	京都市鴨東駐車場	0	—	普通	建設局
12	京都市出町駐車場	47,600	43,788	良い	建設局
13	京都市御池駐車場	180,202	205,830	普通	建設局
14	交通安全施設等整備	1,500,918	1,661,914	—	建設局
15	通行支障柱移設	86,427	90,552	—	建設局
16					
17					
18					
19					
20					

\* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

・今後も、パークアンドライドをはじめ自動車利用の抑制策の推進や「歩行者」を最優先とする快適な道路空間の確保など、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けて、都市計画をはじめ、環境、福祉、教育、景観、産業などの幅広い分野の政策と融合した取組を進める。

施策名	2002	歩く魅力を最大限に味わえるような歩行者優先のまちづくり				
指標名	パークアンドライドの利用者満足度(%)					
担当課	歩くまち京都推進室		連絡先	2 2 2 - 3 4 8 3		
<b>1 指標の説明</b> パークアンドライドの利用者アンケート調査における「とても良かった」及び「まあまあ良かった」とする回答の割合						
<b>2 指標の意味</b> パークアンドライドの利用者の満足度を示す指標			<b>3 算出方法・出典等</b> 出典：事業担当課調べ			
<b>4 数値</b>						
	前回数値 21年度	最新数値 22年度	推移 10.9ポイント減少	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	97.5	86.6		97.6	過去最高値（平成19年度）	88.7%
	全国順位	中長期目標				備考 今後、「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進体制の一つである「歩くまち・京都」推進会議の議論を踏まえて、指標の検討を行う。
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
<b>5 評価基準</b> パークアンドライド利用者アンケート調査において「とても良かった」及び「まあまあ良かった」と回答した割合が a：80%以上 b：60%以上80%未満 c：40%以上60%未満 d：20%以上40%未満 e：20%未満			<b>6 基準説明</b> 「とても良かった」及び「まあまあ良かった」と回答した割合が80%以上の場合を最高のaとし、以下20%刻みで設定した。 <参考> 17年度：96.0% 18年度：96.7% 19年度：97.6% 20年度：96.1%			<b>7 評価結果</b>
						23
						a